

(11)

1

寺田先生のこと

宮部直巳

寺田先生には「地殻の変形」に関する研究に於いて御指導を戴きましたので、海や水の物理学の研究に因りて先生の思出を語るやうな材料<sup>はあり</sup> ~~は~~ありません。<sup>それだ</sup>海洋談話會でお話し致しますには不適當なことも知れませんが、私が<sup>知つて居る範囲で</sup>寺田先生から直接に~~話か~~ ~~い~~ ~~ひ~~ ~~ま~~ ~~し~~ ~~た~~ ~~所~~の<sup>寺田先生に</sup>水に縁のあることをお話ししたいと存じます。

物理学科の学生の時、中期の後半に、特別実験がありまして、その第一回に、私は、現在理研に居られます筒井君と<sup>共に</sup>寺田先生の御指導を受けることになりました。私は、お聊しい話でありますか、<sup>それまで</sup>寺田先生がどういふ風に豪い先生であるか<sup>を全く知りません</sup> ~~を全く知りません~~ ~~と~~ ~~した~~し、若村冬彦のペンネームも知りませんでした。寺田先生に関する知識<sup>の多少</sup>女学生にもあつておたのびがあります。

筒井 義と一緒に先生の許へ実験の計画等の御指導を受け  
 けに行つたのであります。その時甚だ不思議な印象を  
 受け取つたのであります。それは、先づ先生が、バットの  
 中に水を入れて、その中へアルミニウムの粉を混ぜ、よくか  
 き混ぜた後、バットを傾けてしきりに考へて居られるの  
 でした。しばらくして、今度はその中へ写真の乾板の古  
 いものを入れて又同じことを繰返して居られます。やか  
 てその乾板のの上を流れる水の中に至るまでアルミニウム粉のすぢ  
すぢが幾條となくあらはれるのです。さうすると先生は、  
 満足げな微笑をもつて私共の方を顧みられるのでした。  
 私共は、そのすぢがどうして出来るかと調べる実験をす  
 る様に命じられました。先生はその実験装置に就いて細  
 々と御注意下さいましたし、時々見廻つて来られては、  
 此處をかう、~~其處をかう~~其處をかうと御注意下さるのでした。  
 その実験の眞の意味の分らなかつた私は、それか?あまりに、  
 小供の悪戯ぢみてゐる様このに思はれて居はたのであります。



に移り、同時にスコーンから遠ざかつてゆきます。これは  
 は句論、さう~~珍~~珍らしかる様不現象には御座いますまい  
 か、~~後~~後、やはり筒井君のやらされました実験中  
 に同様な現象が出てまゐりまして、先生がそれと色々  
 説明して下さ~~り~~ましたことか御座います。先生の御説明  
 の内容は今憶えて居りませんかから申し上げられませんか、  
 同様の現象について、先生が~~珍~~珍<sup>コト</sup>々々<sup>の</sup>事<sup>を</sup>挙げて居られま~~も~~た  
~~こと~~ことが、そこらあらはれて来<sup>る</sup>の<sup>に</sup>あると言へる  
 でありませう。

先生が、所謂寺田流の研究をなさいましたこと~~か~~多  
 くの人々によつて読まれて居ります。又~~先生~~先生の研  
 究方法が多く獨創的であつたことも事實でありますか、  
<sup>基礎</sup>基礎的な学問への充分な~~理~~理解を基として~~こと~~こと可能  
 な事柄なのであるといふことは申し上げるまでもございま  
 すまい。先生の頭脳の中には、~~整理~~整理<sup>も完備された</sup>された物理学書  
 があつて、あらゆる現象が先生の眼に映る時、一々こ

肯定すべきは肯定し

の物理学書に照し合せて疑~~は~~~~す~~~~べ~~~~き~~~~疑~~~~は~~~~す~~~~べ~~~~き~~、否定すべき<sup>は</sup>  
否定し。そして疑はしいものは納得のゆくまゝ宛めてゆ  
かうとされた~~際~~、~~際~~、それが、先生の研究の生活~~は~~~~は~~~~な~~~~り~~  
あつたであらうと考へるのは間違ひでせうか。

先生の豪さは、先生の頭脳の中に<sup>準備され</sup>~~は~~~~な~~~~り~~  
尺度と~~は~~~~な~~~~り~~~~な~~~~ら~~~~ず~~なつた無形の物理学書にある  
のではないかと<sup>い</sup>思はれます。

先生が世を去られてから一年になります。~~は~~~~な~~~~り~~  
~~は~~~~な~~~~り~~~~な~~~~ら~~~~ず~~多くの人々の心に<sup>は</sup>響つた~~は~~~~な~~~~り~~  
先生の映像をうかんでゐる  
こと、好みます。私は私の思ひうかんでゐる先生のすか  
たが、先生の全部であつたとは思ひませんが、それだけで  
先生に対する尊敬と追慕の情は堪えられないものに  
思ひます。

し  
し  
し